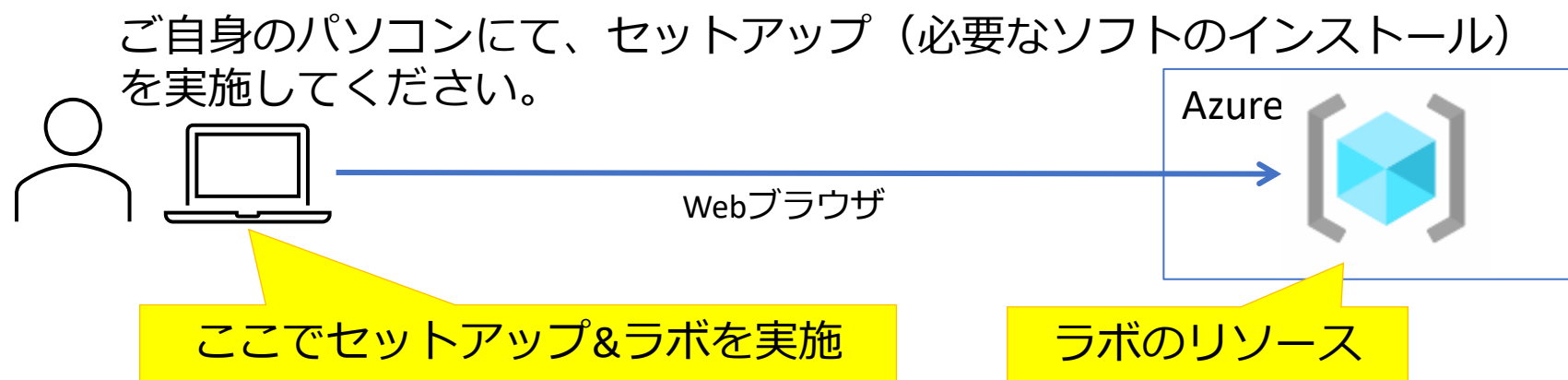


ラボ環境のパターンを
お選びください

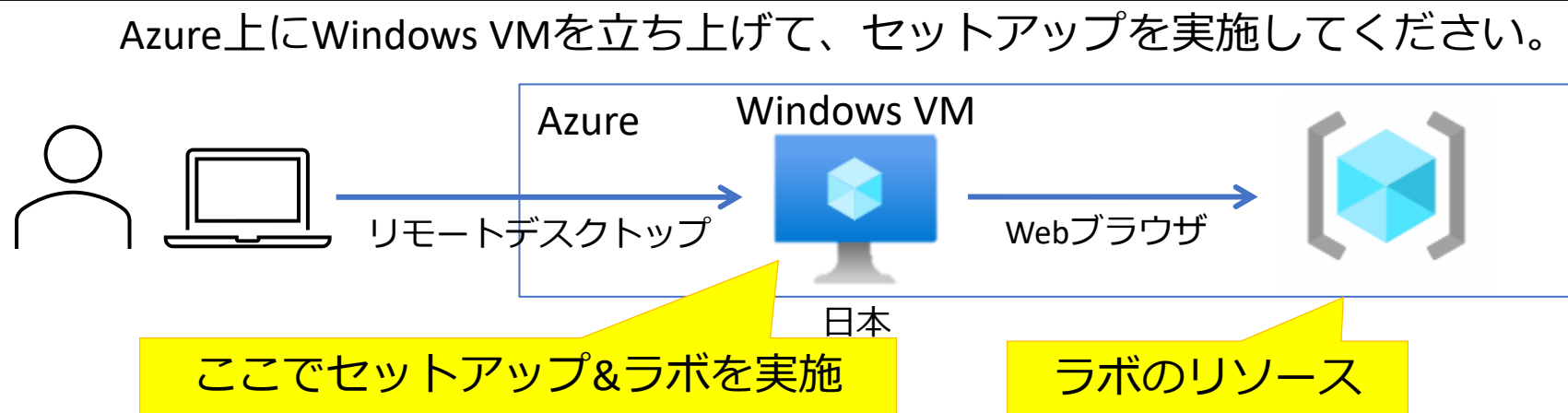
実施パターンA:
ご自身のパソコンを
使用する

快適さ:★★★★
環境セットアップ:必要



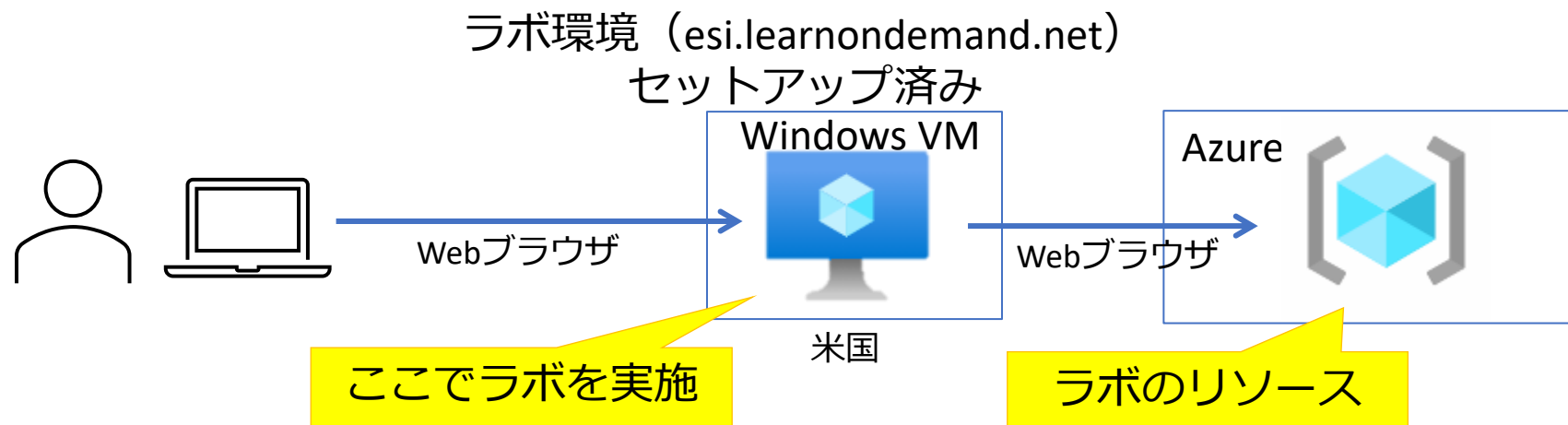
実施パターンB:
Azure 上に
Windows VMを起動して
使用する

快適さ:★★
環境セットアップ:必要



実施パターンC:
「esiラボ環境」を起動して
使用する

快適さ:★
環境セットアップ:ほぼ不要



必要なセットアップ

	パターンA お手元PCで実施	パターンB Windows VMで実施	パターンC tsfbラボ環境で実施
リモート デスクトップ アプリ	不要	要 (Macの方のみ)	不要
Azure上で Windows VMを起動	不要	要	不要
Microsoft Edge	不要	要	不要
Azure CLI	要	要	不要
.NET Core 3.1	要	要	不要
httprepl	要	要	不要
Visual Studio Code 最新版	要	要	不要
Azure Function Core Tools	要	要	不要
Azure Storage Explorer	要	要	不要
ラボで使用する ソースコードの ダウンロード	要	要	要

パターンB（VM）のデプロイは、ボタン1発で実行できます。どうぞご利用ください。

<https://github.com/hiryamada/labvm>

☰ README.md

labvm

 Deploy to Azure



このリソースグループ「labrg」は
研修期間中
削除しないように
お気をつけください

プロジェクトの詳細

デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを使用して、すべてのリソースを整理し、管理します。

サブスクリプション * ⓘ

Azure Pass - スポンサー プラン

リソース グループ * ⓘ

新規作成

リソース グループは、Azure のソリューションに関連するリソースを保持するコンテナです。

名前 *

labvmrg

OK

キャンセル

Admin Username

azureuser

Admin Password *

確認と作成

< 前へ

次: 確認と作成 >

作成

< 前へ

次へ

リモートデスクトップアプリ

リモートデスクトップアプリ



リモートデスクトップ mac



[すべて](#)

[画像](#)

[動画](#)

[ショッピング](#)

[ニュース](#)

[もっと見る](#)

[設定](#)

[ツール](#)

約 2,390,000 件 (0.66 秒)

[apps.apple.com](#) > [app](#) > microsoft-remote-desktop ▼

「Microsoft Remote Desktop」をMac App Storeで

2020/12/02 — ... を見ることができます。macOS 10.13以降対応の「Microsoft Remote Desktop」をダウンロードして、Macでお楽しみください。... クトップの設定も ver8 からインポートでき移行はスムーズ。なんといっても Mac-JIS ...

★★★★★ 評価: 4.3 · 2,369 件のレビュー · 無料

以降、画面の指示にしたがって
インストールを行ってください

パターンB： Azure上での Windows VMの起動 (Edgeブラウザのインストールを含む)

☰ README.md

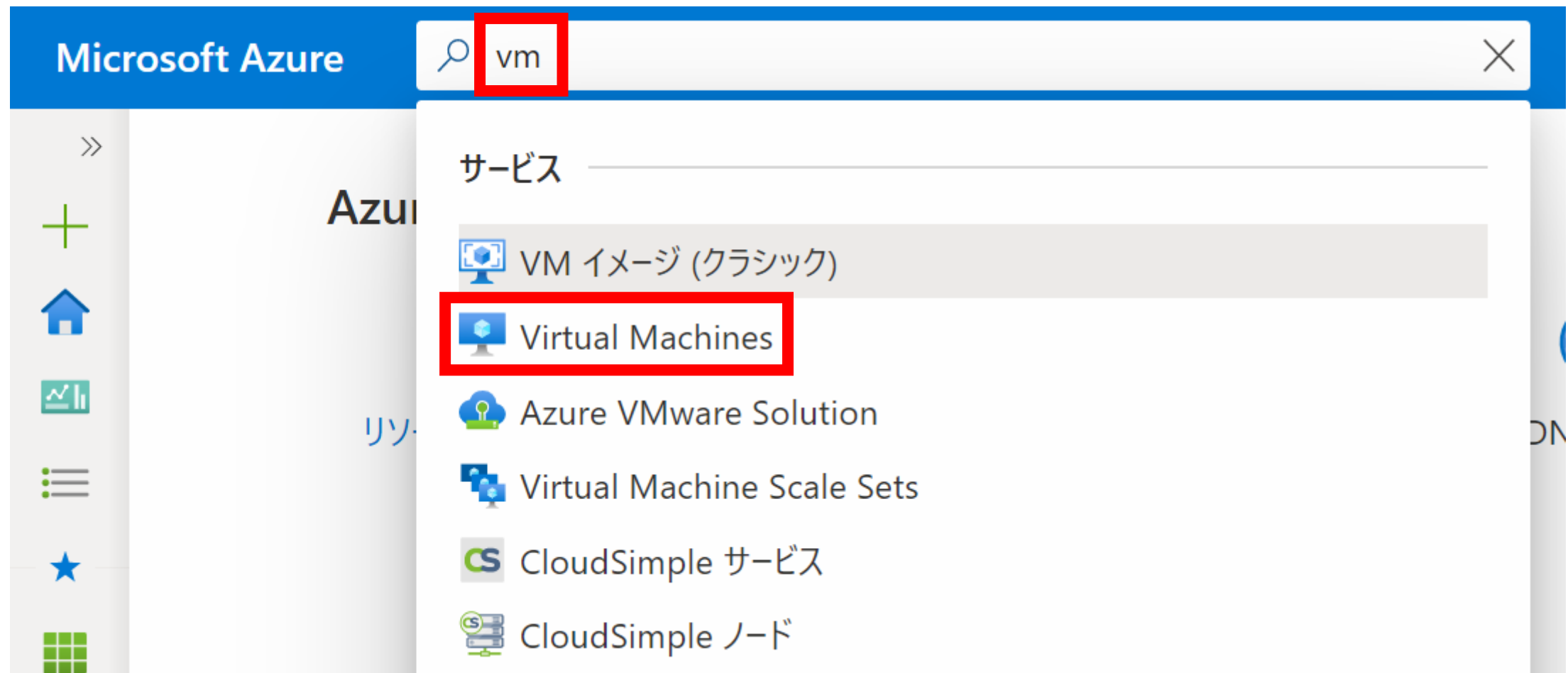
labvm



Deploy to Azure

このボタンでデプロイ
した場合はスキップで
きます。

Azure上でのWindows VMの起動



既定のディレクトリ (test20210105outlook.onmicrosoft.com)

+追加

🕒 予約 ▾

三三 列の編集



+ 仮想マシン

＋ プリセット構成で開始 ス ブラウザーをお試しください。こ
れは、メンテナンス状態などの一部の列のサポートが含ま

サブスクリプション: Azure Pass - スポンサー プラン - サブス

Azure上でのWindows VMの起動

基本 ディスク ネットワーク 管理 詳細 タグ 確認および作成

Linux または Windows を実行する仮想マシンを作成します。Azure Marketplace からイメージを選択するか、独自のカスタマイズされたイメージを使用します。[基本] タブに続いて [確認と作成] を完了させて既定のパラメーターで仮想マシンをプロビジョニングするか、それぞれのタブを確認してフル カスタマイズを行います。 [詳細情報](#)

プロジェクトの詳細

デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを管理し、管理します。

サブスクリプション * ⓘ

Azure Pass - スポンサー プラン

リソース グループ * ⓘ

(新規) リソース グループ

[新規作成](#)

このリソースグループ「labrg」は
研修期間中
削除しないように
お気をつけください

インスタンスの詳細

仮想マシン名 * ⓘ

地域 * ⓘ

可用性オプション ⓘ

イメージ * ⓘ

リソース グループは、Azure のソリューションに関連するリソースを保持するコンテナです。

名前 *

labrg

OK

キャンセル

[すべてのイメージを表示](#)

このVM「labvm」は研修期間中
削除しないように
お気をつけください

インスタンスの詳細

仮想マシン名 * ⓘ

labvm

✓

地域 * ⓘ

(Asia Pacific) 東日本

▼

可用性オプション ⓘ

インフラストラクチャ冗長は必要ありません

▼

イメージ * ⓘ

Windows Server 2019 Datacenter - Gen1

▼

[すべてのイメージを表示](#)

Azure上でのWindows VMの起動

サイズ * ⓘ

Standard B1s - 1 vcpu、1 GiB のメモリ (¥ 1,439/月)

すべてのサイズを表示

VM サイズの選択



🔍 VM サイズで検索してくださ...

コストの表示 : 月単位

vCPU 数 : すべて

RAM (GiB) : すべて

+🔍 フィルターの追加

391 件の VM サイズを表示しています。

サブスクリプション: Azure Pass - スポンサー プラン

リージョン: 東日本

現在のサイズ: Standard_B1s

イメージ: Windows Server 2019 Datacenter

VM サイズに関する詳細情報

シリーズでグループ化

VM サイズ ↑↓ ファミリ ↑↓ vCPU 数 ↑↓ RAM (GiB) ↑↓ データ ディスク ↑↓ 最大 IOPS ↑↓ 一時ストレージ ↑↓

> Azure ユーザーが最もよく使用

Azure 内のユーザーによって最も使用されているサイズ

✓ D シリーズ v4

汎用のニーズを満たすために推奨されている最新世代の D ファミリのサイズ

D2as_v4	汎用	2	8	4	3200	16
D2ds_v4	汎用	2	8	4	3200	75
D2s_v4	汎用	2	8	4	3200	0
D4as_v4	汎用	4	16	8	6400	32
D4ds_v4	汎用	4	16	8	6400	150

選択

Azure上でのWindows VMの起動 管理者アカウント

ユーザー名 * ⓘ

azureuser

ご自身で決定してください

パスワード * ⓘ

.....

ご自身で決定してください

パスワードの確認 * ⓘ

.....

ご自身で決定してください

受信ポートの規則

パブリック インターネットからアクセスできる仮想マシン ネットワークのポートを選択します。[ネットワーク] タブでアクセスを指定できます。

パブリック受信ポート * ⓘ

☐ なし

☒ 選択したポートを許可する

受信ポートを選択 *

RDP (3389)

確認および作成

✔ 検証に成功しました

基本 ディスク ネットワーク 管理 詳細 タグ 確認および作成

製品の詳細

Standard D2s_v4

発行者: Microsoft

[利用規約](#) | [プライバシー](#) [ポリシー](#)

サブスクリプション クレジット適用可能 ⓘ

24.1920 JPY/時間
[他の VM サイズの価格](#)

研修5日間で利用しても
2880円程度。
(Azure Passサブスクリプション
のクレジットで
十分にまかなえます)

利用規約

"作成" をクリックすることで、お客様は (a) 上記の Marketplace のオファリングに関連する法律条項とプライバシーに関
Microsoft より、そのオファリングに関連する料金が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求
[認め](#)、かつ、(c) Microsoft がお客様の[連続性情報](#)、[信用情報](#)、[取引に関する情報](#)を、[サポート](#)、[請求](#)、その他の取


作成

< 前へ

次へ >

[Automation のテンプレートをダウンロードする](#)

 削除  キャンセル  再デプロイ  最新の情報に更新

 フィードバックをお待ちしています。 →

... デプロイが進行中です

1分ほど待ちます



デプロイ名: CreateVm-MicrosoftWindowsServer.WindowsServer-201-...
サブスクリプション: [Azure Pass - スポンサー プラン](#)
リソース グループ: [labrg](#)

^ 展開の詳細 [\(ダウンロード\)](#)

リソース	種類	状態
------	----	----

結果がありません。



デプロイが完了しました



デプロイ名: CreateVm-MicrosoftWindowsServer.WindowsServer-201-...

サブスクリプション: [Azure Pass - スポンサー プラン](#)

リソース グループ: [labrg](#)

▽ 展開の詳細 [\(ダウンロード\)](#)

△ 次の手順

[仮想マシンの自動管理のベスト プラクティスを有効にする \(プレビュー\)](#) お勧め

[自動シャットダウンを設定する](#) お勧め

[VM の正常性、パフォーマンス、およびネットワークの依存関係を監視する](#) お勧め

[仮想マシン内でスクリプトを実行する](#) お勧め

リソースに移動

別の VM の作成

Azure上でのWindows VMの起動



labvm

仮想マシン

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

タグ

問題の診断と解決

設定

ネットワーク

接続

接続

RDP

SSH

Bastion

開始

再起動

停止

キャプチャ

場所

東日本

サブスクリプション (変更)

Azure Pass - スポンサー プラン

サブスクリプション ID

921d02c7-4f2c-4d3b-b1c2-fa653b443c7e

Azure上でのWindows VMの起動

RDP SSH Bastion

RDP で接続する

RDP を使用して仮想マシンに接続するには、IP アドレスを選

IP アドレス *

パブリック IP アドレス (20.194.236.7)

ポート番号 *

3389

RDP ファイルのダウンロード

接続できない場合

 接続のテスト

 RDP の接続の問題のトラブルシューティング

このRDPファイルを使用して
リモートデスクトップ
接続を行います



labvm.rdp

Azure上でのWindows VMの起動

labvm - 20.194.236.7:3389 - リモート デスクトップ接続



Networks

Network

Do you want to allow your PC to be discoverable by other PCs and devices on this network?

We recommend allowing this on your home and work networks, but not public ones.

Yes

No

Azure上でのWindows VMの起動

labvm - 20.194.236.7:3389 - リモート デスクトップ接続

Server Manager

Server Manager ▶ Dashboard

DashboardServer Manager

Local Servers

All Servers

File and Storage Services

Try managing servers with Windows Admin Center

Windows Admin Center brings together new and familiar features in one browser-based app. It runs on a server or a PC, and there's no additional cost beyond your Windows licenses.

[Get more info at aka.ms/WindowsAdminCenter](#)

☐ Don't show this message again

1

2

3

4 Create a server group

5 Connect this server to cloud services

LEARN MORE

Hide

ROLES AND SERVER GROUPS

Roles: 1 | Server groups: 1 | Servers total: 1

File and Storage Services1

Manageability

Events

Performance

BPA results

Local Server1

Manageability

Events

Services

Performance

BPA results

1/21/2021 5:32 PM

All Servers1

Manageability

Events

Services

Performance

BPA results

「X」で閉じます

Windows Taskbar

5:33 PM 1/21/2021

Azure上でのWindows VMの起動

labvm - 20.194.236.7:3389 - リモート デスクトップ接続

Server Manager

Server Manager ▸ Dashboard

Dashboard

Local Server

All Servers

File and Storage Services ▸

WELCOME TO SERVER MANAGER

QUICK START

WHAT'S NEW

LEARN MORE

1

Configure this local server

2

Add roles and features

3

Add other servers to manage

4

Create a server group

5

Connect this server to cloud services

Hide

ROLES AND SERVER GROUPS

Roles: 1 | Server groups: 1 | Servers total: 1

File and Storage Services

1

Manageability

Events

Performance

BPA results

Local Server

1

Manageability

Events

Services

Performance

BPA results

All Servers

1

Manageability

Events

Services

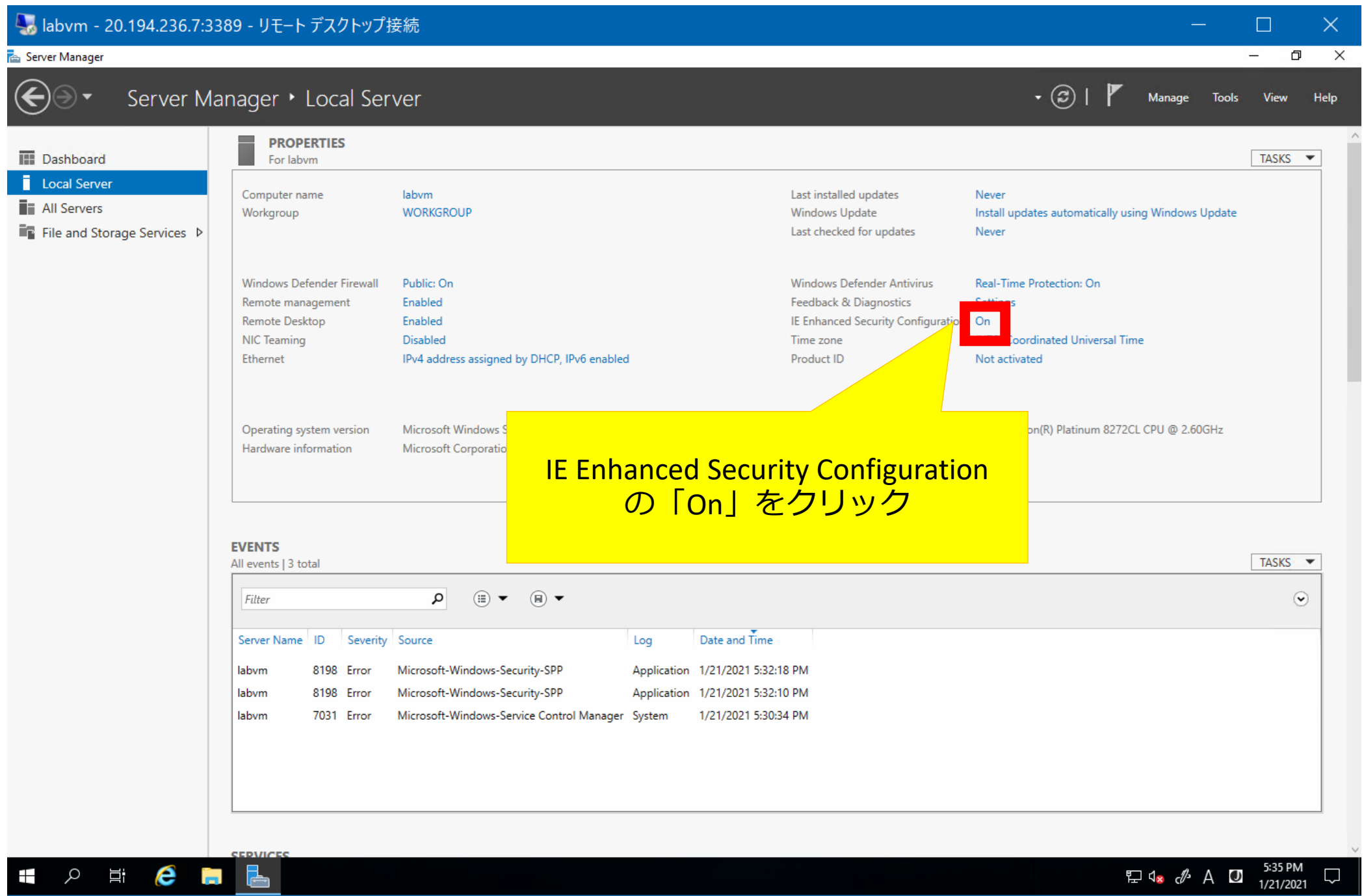
Performance

BPA results

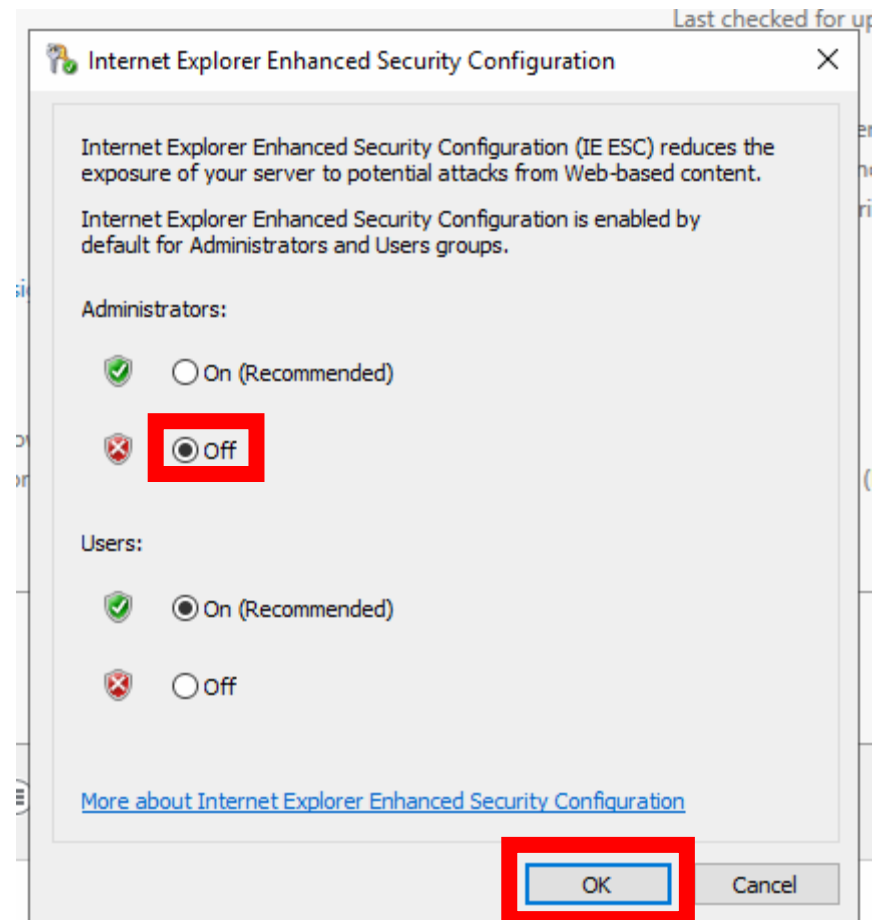
Windows Taskbar

5:35 PM 1/21/2021

Azure上でのWindows VMの起動



Azure上でのWindows VMの起動



Azure上でのWindows VMの起動

labvm - 20.194.236.7:3389 - リモート デスクトップ接続

Server Manager

Internet Explorer Enhanced ... x

res://iesetup.dll/SoftAdmin.htm

Search...

Caution: Internet Explorer Enhanced Security Configuration is not enabled

Internet Explorer 11

Set up Internet Explorer 11

☒ Use recommended security, privacy, and compatibility settings

Windows Defender SmartScreen helps protect you from malicious websites and software by sending some web addresses to Microsoft to be checked. Compatibility lists are downloaded to make Internet Explorer 11 features work better with changing websites and older PC hardware. Read the [Internet Explorer privacy statement](#) online.

☐ Don't use recommended settings

☒ Send Do Not Track requests to tell sites you prefer not to be tracked

OK Ask me later

5. Click **OK** to apply your changes.

Note: Once the Internet Explorer Enhanced Security Configuration is turned on for both sets of users, Server Manager will display **On (Recommended)** next to Internet Explorer Enhanced Security Configuration.

Server Name ID Source Log Date and Time

labvm		Microsoft-Windows-Security-SPP	Application	1/21/2021 5:32:18 PM
labvm		Microsoft-Windows-Security-SPP	Application	1/21/2021 5:32:10 PM
labvm	7031	Microsoft-Windows-Service Control Manager	System	1/21/2021 5:30:34 PM

Internet Explorer Enhanced Security Configuration is not enabled

Never

Install updates automatically using Windows Update

Never

Real-Time Protection: On

Settings

Off

(UTC) Coordinated Universal Time

Not activated

Intel(R) Xeon(R) Platinum 8272CL CPU @ 2.60GHz

8 GB

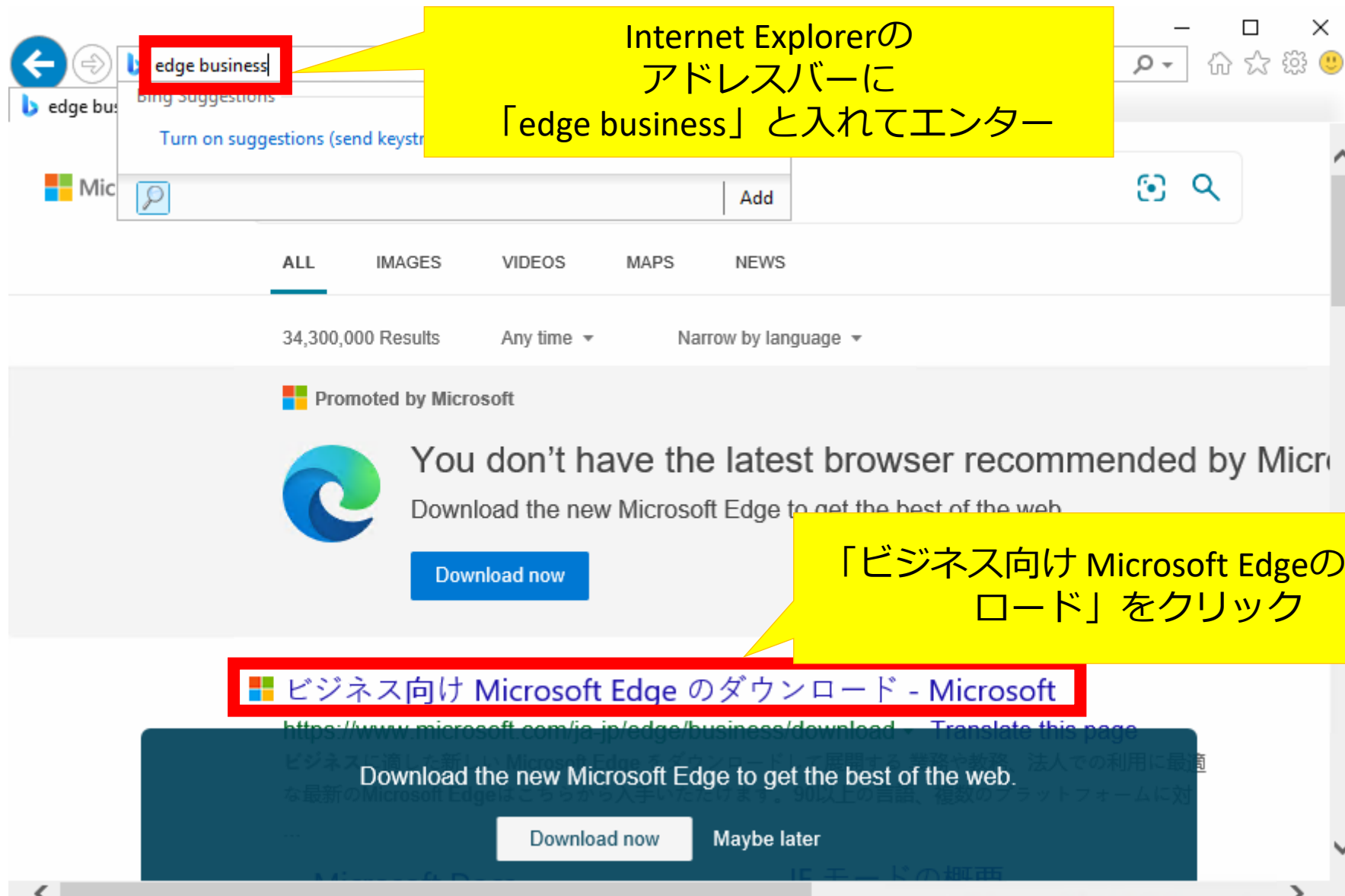
126.51 GB

Internet Explorer

を起動

5:37 PM 1/21/2021

Azure上でのWindows VMの起動





ページの下部まで
スクロールします

ビジネスに適した新しい Microsoft Edge をダウンロード して展開する

業務や教務、法人での利用に最適な最新のMicrosoft Edgeはこちらから入手いただけます。90以上の言語、複数のプラットフォームに対応しています。

チャンネル/バージョンを選択 ⓘ

安定版 87 （現在およびサポートされている） ▼

ビルドを選択

87.0.664.75 ▼

プラットフォームを選択

Windows 64-bit ▼

↓ ダウンロード

↓ ポリシー ファイルを取得

チャネル、ビルドは
最新（一番上）を選択

プラットフォーム：
Windows 64



Download Microsoft Edge

MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS

MICROSOFT EDGE

After installation, these terms are also viewable in Microsoft Edge at <edge://terms>.

Source code for portions of Microsoft Edge is available free of charge from <https://thirdpartysource.microsoft.com> under the third party open source license terms provided at <http://aka.ms/thirdparty notices> and in Microsoft Edge at <edge://credits> after installation. Or to obtain this source code you may send a check or money order for US \$5.00, including the Edge version number, to:

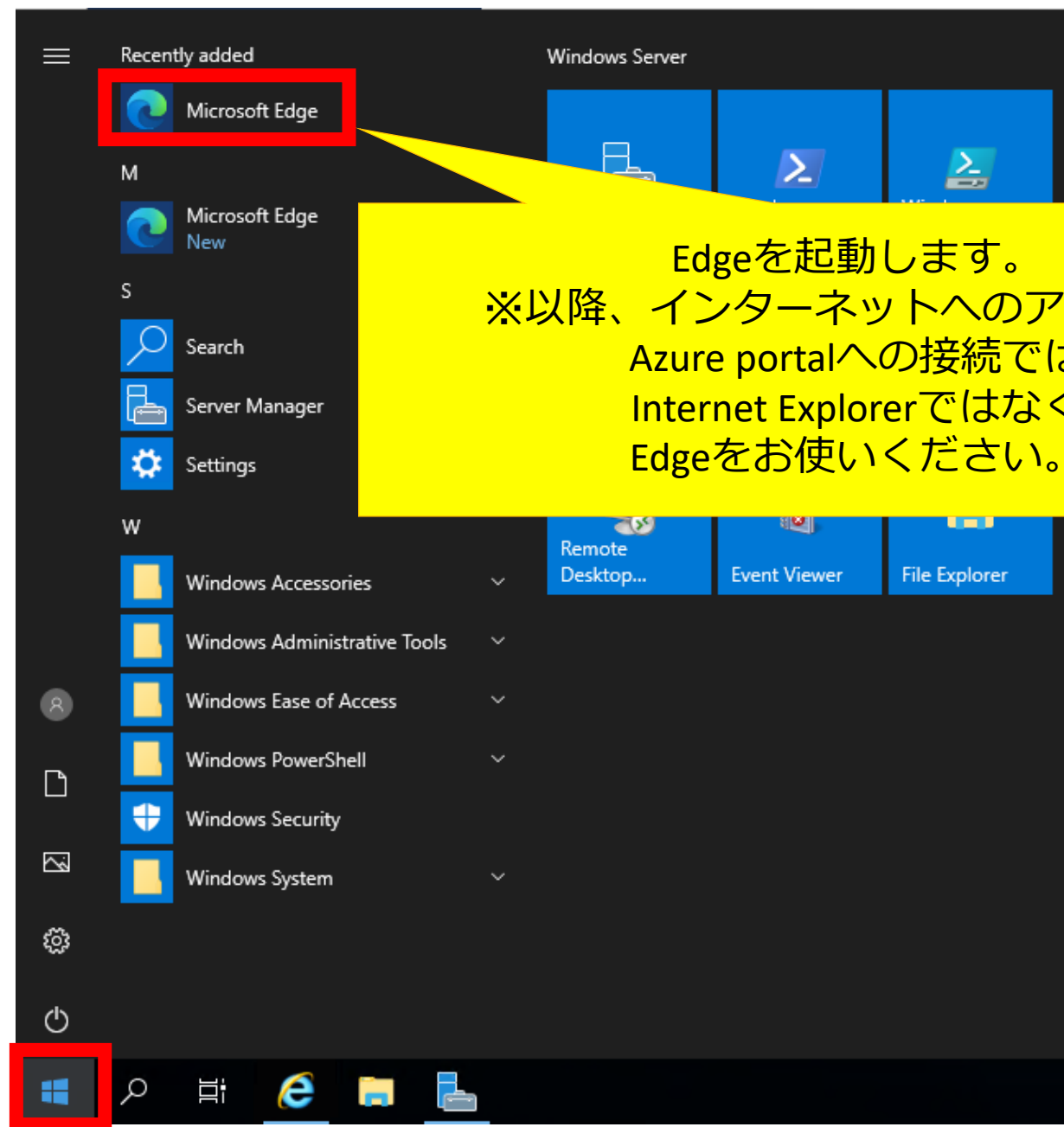
Source Code Compliance Team

[Privacy statement](#)

Accept and download

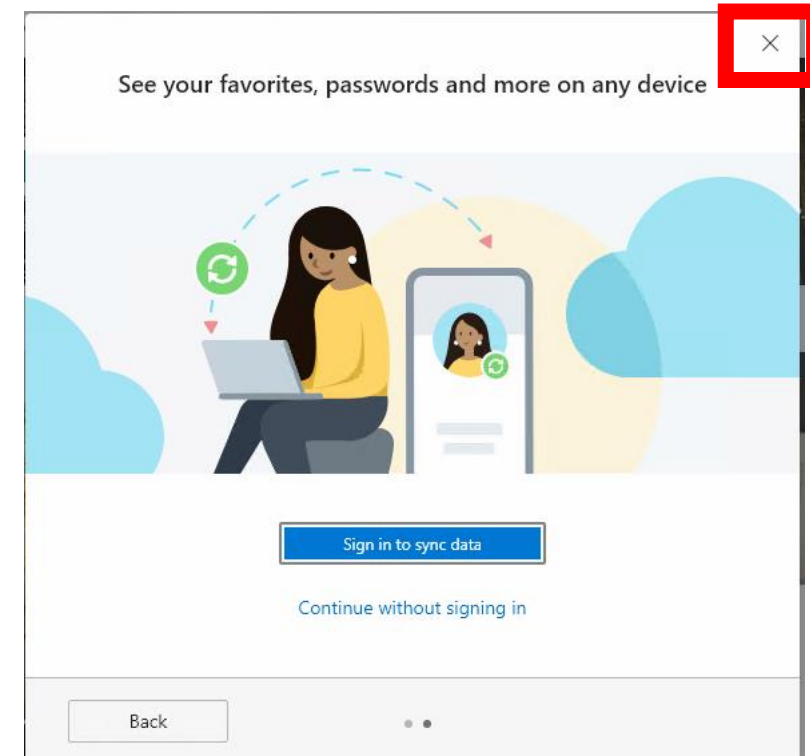
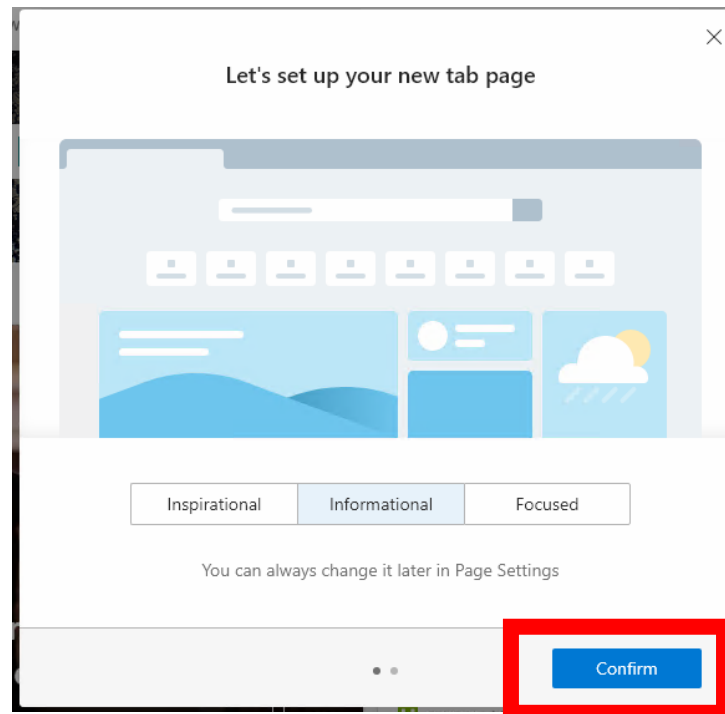
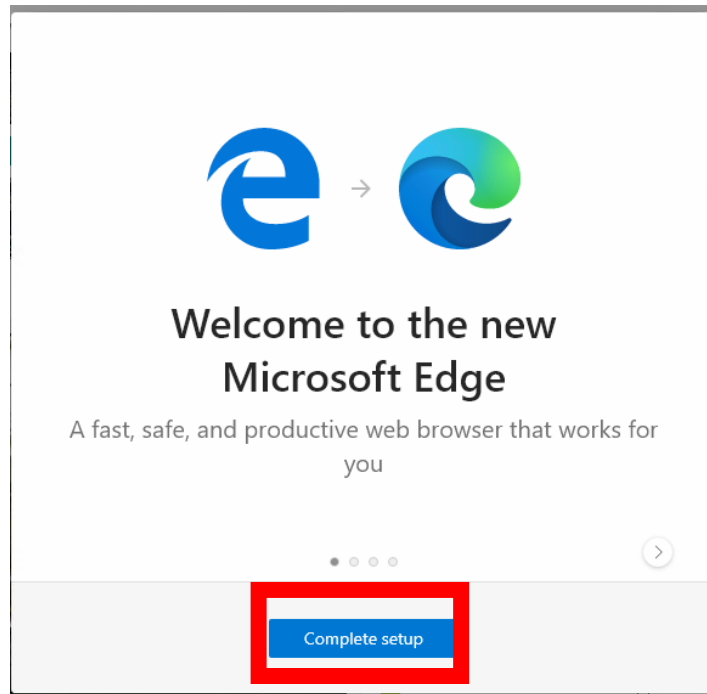


Azure上でのWindows VMの起動



Edgeを起動します。
※以降、インターネットへのアクセスや
Azure portalへの接続では
Internet Explorerではなく
Edgeをお使いください。

Azure上でのWindows VMの起動



Azure CLI (azコマンド)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/cli/azure/install-azure-cli>
にアクセスします。

Install

The current version of the Azure CLI is **2.18.0**. For information about see the [release notes](#). To find your installed version and see if you have the latest version, run `az version`.

- [Install on Windows](#)
- [Install on macOS](#)
- [Install on Linux or Windows Subsystem for Linux \(WSL\)](#)
 - [Install with apt on Debian or Ubuntu](#)
 - [Install with yum on RHEL, Fedora, or CentOS](#)
 - [Install with zypper on openSUSE or SLE](#)
 - [Install from script](#)
- [Run in Docker container](#)
- [Run in Azure Cloud Shell](#)

Windows用

Mac用

インストーラーを
ダウンロードして実行してください

Microsoft Installer (MSI)

Microsoft Installer (MSI) with Command

When the installer asks if it can make changes to your computer, click the Yes button.

Azure CLI current version

Download and install the current release of the Azure CLI.

Current release of the Azure CLI

.NET Core 3.1 SDK



.net core download



[すべて](#)

[動画](#)

[ニュース](#)

[画像](#)

[書籍](#)

[もっと見る](#)

[設定](#)

[ツール](#)

約 69,700,000 件 (0.76 秒)

[dotnet.microsoft.com](#) › [download](#) ▼ [このページを訳す](#)

Download .NET (Linux, macOS, and Windows) - NET - Microsoft

.NET Core 3.1. LTS **.NET Core** is a free, cross-platform, open-source developer platform for building many different types ...

Download .NET Framework

NET Framework 4.8 - 4.7.2 - NET
Framework 4.0 - 4.5.2 - ...

NET Core 3.1

NET Core 3.1 downloads for Linux,
macOS, and Windows. .NET ...

Download .NET Core 2.2

ASP.NET Core Runtime 2.2.0-
preview2. The ASP.NET Core ...

Download .NET 5.0

NET 5.0 downloads for Linux,
macOS, and Windows. .NET is ...

v3.1.11

Security patch ⓘ

[Release notes](#)

Released

2021-01-12

❓ This release contains multiple SDKs. If you're using Visual Studio, look for the SDK that supports the version you're using. If you're not using Visual Studio, install the first SDK listed.

SDK 3.1.405

Visual Studio support

Visual Studio 2019 (v16.7)

Visual Studio 2019 for Mac (v8.8)

Included in

Visual Studio 16.7.10

Included runtimes

.NET Core Runtime 3.1.11

ASP.NET Core Runtime 3.1.11

.NET Core Desktop Runtime 3.1.11

Language support

C# 8.0

F# 4.7

Visual Basic 15.9

SDKの最新版を
使用します

お使いのOSにあった
インストーラーを
クリック

OS	Installers	Binaries
Linux	Package manager instructions	Arm32 Arm64 RHEL 6 x64 x64 x64 Alpine
macOS	x64	x64
Windows	x64 x86	Arm32 x64 x86
All	dotnet-install scripts	

Microsoft | .NET About Learn Architecture Docs Downloads Community LIVE TV All Microsoft

Home > Download > .NET Core > 3.1 > .NET Core 3.1 SDK (v3.1.405) - Windows x64 Installer

Thanks for downloading .NET Core 3.1 SDK (v3.1.405) - Windows x64 Installer!

ダウンロードが行われ
ない場合はここをクリック

Using Visual Studio? This release is only compatible with Visual Studio 2019. For the latest version? See [.NET SDKs for Visual Studio](#).

If your download doesn't start after 30 seconds, [click here to download manually](#).

Direct link <https://download.visualstudio.microsoft.com/download/pr/c5cf65f5-85ca-4ae0-9c36-a0e0a852c218/07b9418c61804efb0fb079c28b1b1c90/dotnet-core-sdk-3.1.405-windows-x64-installer.exe>

Checksum (SHA512) 6dd2f4f45036c25918d8fd48fde7109b1c794d4c2f863131b02f0b5b30d6fb070bbbdc897f672c098ec34baf26db33d6a99e19b72e1

Microsoft .NET Core SDK

.NET Core SDK
NET Core is open source, cross-platform and supported by Microsoft. You can use it to build your next app, with C#, F# or VB. We hope you enjoy it!

Learn more about .NET Core
[Core Documentation](#)
[SDK Documentation](#)
[Privacy Statement](#)
[NET Library File](#)

```
Microsoft Windows
(c) 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>dotnet

Usage: dotnet [options]
Usage: dotnet [path-to-application]

Options:
  -h|--help          Display help.
  --version           Display version.
```

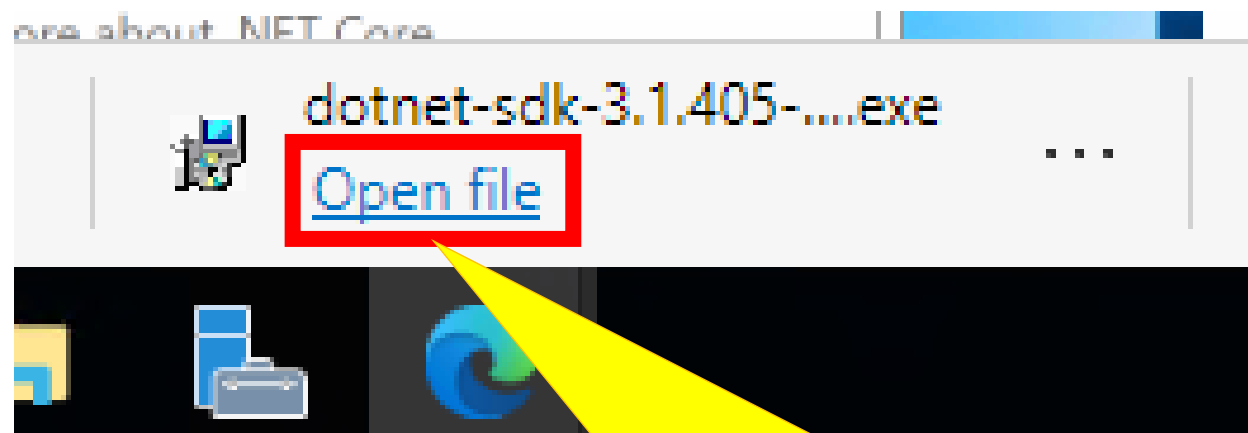
.NET

Tell us about yourself
Knowing who uses .NET helps us build a better product

Are you a software developer?
☐ Yes ☐ No

[Cancel](#) [Continue](#)

[Privacy & Cookies](#)



ダウンロードされた
インストーラーを起動
※以降、画面の表示に従って
.NET Core 3.1 SDKをインストールしてください

httprepl

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/aspnet/core/web-api/http-repl/>
にアクセスします。

インストール

HttpRepl をインストールするには、次のコマンドを実行します。

.NET Core CLI

```
dotnet tool install -g Microsoft.dotnet-httprepl
```

クリック

コピー

PowerShell（Macの方はTerminal）を開き、そこに上記でコピーしたコマンドを貼り付けてエンターで実行します。httpreplがインストールされます。

Visual Studio Core
最新版

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/visual-studio-code/>
にアクセスします。



Microsoft Azure

営業担当者へのお問い合わせ

概要 ソリューション **製品** ▼ ドキュメント 価格 ▼ トレーニング Marketplace パートナー ▼

ホーム / 製品 / Visual Studio Code

Visual Studio Code

コードを Azure に簡単にデプロイできる統合ツールを備えた強力な軽量な無料コードエディター

今すぐダウンロード

Azure を無料で試す

Visual Studio Code 最新版

お使いのOSに合わせて、Visual Studio Code のインストーラをダウンロードします。



↓ Windows

Windows 7, 8, 10

↓ .deb

Debian, Ubuntu

↓ .rpm

Red Hat, Fedora, SUSE

↓ Mac

macOS 10.10+

User Installer 64 bit 32 bit ARM
System Installer 64 bit 32 bit ARM
.zip 64 bit 32 bit ARM

.deb 64 bit ARM ARM 64
.rpm 64 bit ARM ARM 64
.tar.gz 64 bit ARM ARM 64
Snap Store

Windowsを
ご利用の方は
こちら

Macを
ご利用の方は
こちら

以降、画面の表示にしたがって
Visual Studio Codeのインストールを完了させてください。

Azure Functions Core Tools

ご使用のOSを
選択します

Windows

macOS

Linux

次の手順では、Windows インストーラー (MSI) を使用して Core Tools v3.x をインストールします。Core Tools v2.x のインストールに必要な、その他のパッケージベースのインストーラーの詳細については、[Core Tools の Readme](#) をご覧ください。

1. Windows のバージョンに応じて、以下の Core Tools インストーラーをダウンロードして実行します。

- [v3.x - Windows 64 ビット](#) (推奨。Visual Studio Code のデバッグ には 64 ビットが必要で
す)
- [v3.x - Windows 32 ビット](#)

2. 拡張バンドルを使用しない場合、[.NET Core 3.x SDK for Windows](#) をインストールします。

(Windowsの場合) 推奨の64ビット版をインストールします。

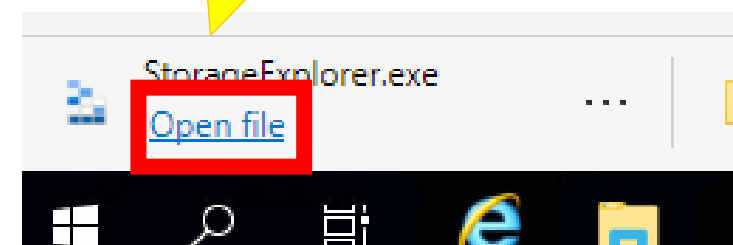
Azure Storage Explorer

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/features/storage-explorer/>
にアクセス

ご使用のosを
選択します



インストーラを起動し、
画面の指示にしたがって
インストールを完了させて
ください。



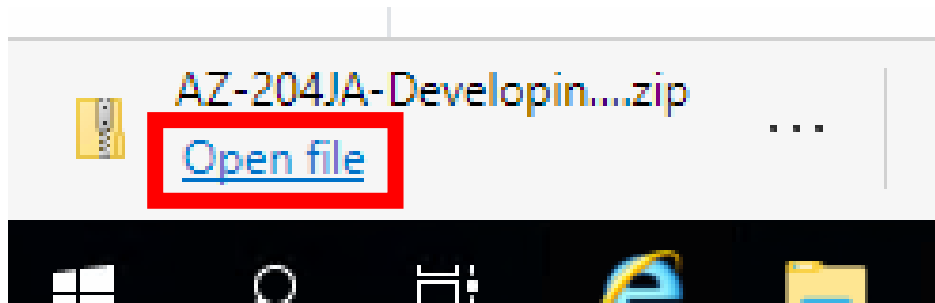
ラボで使用する
ソースコードのダウンロード

<https://github.com/MicrosoftLearning/AZ-204JA-DevelopingSolutionsforMicrosoftAzure>
にアクセスし、ラボファイルをダウンロードします。

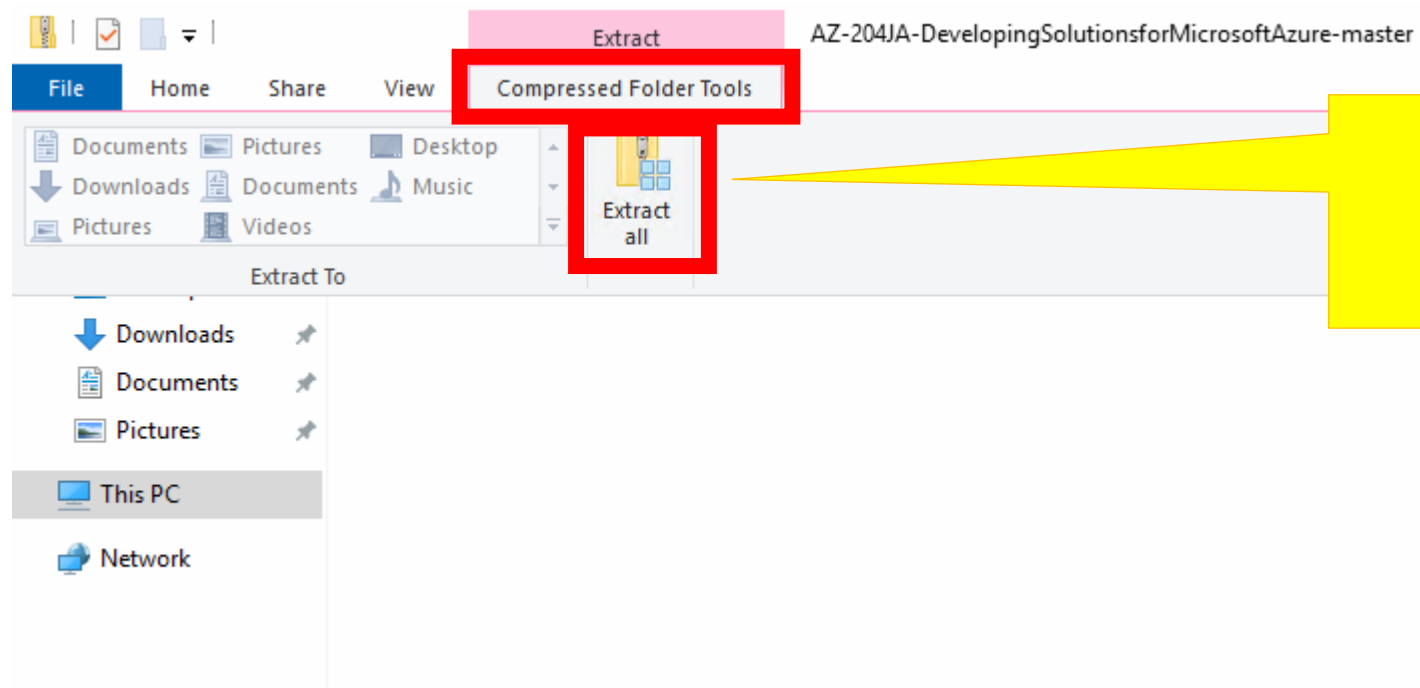
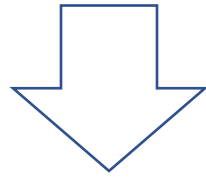
The screenshot shows the GitHub repository page for `MicrosoftLearning / AZ-204JA-DevelopingSolutionsforMicrosoftAzure`. The repository is on the `master` branch, with 1 branch and 5 tags. The repository structure is as follows:

File/Folder	Commit Message
<code>.github</code>	Update CONTRIBUTING.md
<code>Allfiles</code>	Merge branch 'master' of https://github.com/MicrosoftLearning/AZ-204JA-DevelopingSolutionsforMicrosoftAzure
<code>Instructions</code>	Update AZ-204_10_lab_ak.md
<code>LICENSE</code>	Initial Commit
<code>_build.yml</code>	Initial Commit
<code>_config.yml</code>	Update _config.yml

The 'Code' button is highlighted with a red box. The 'Download ZIP' option in the clone dropdown menu is also highlighted with a red box.

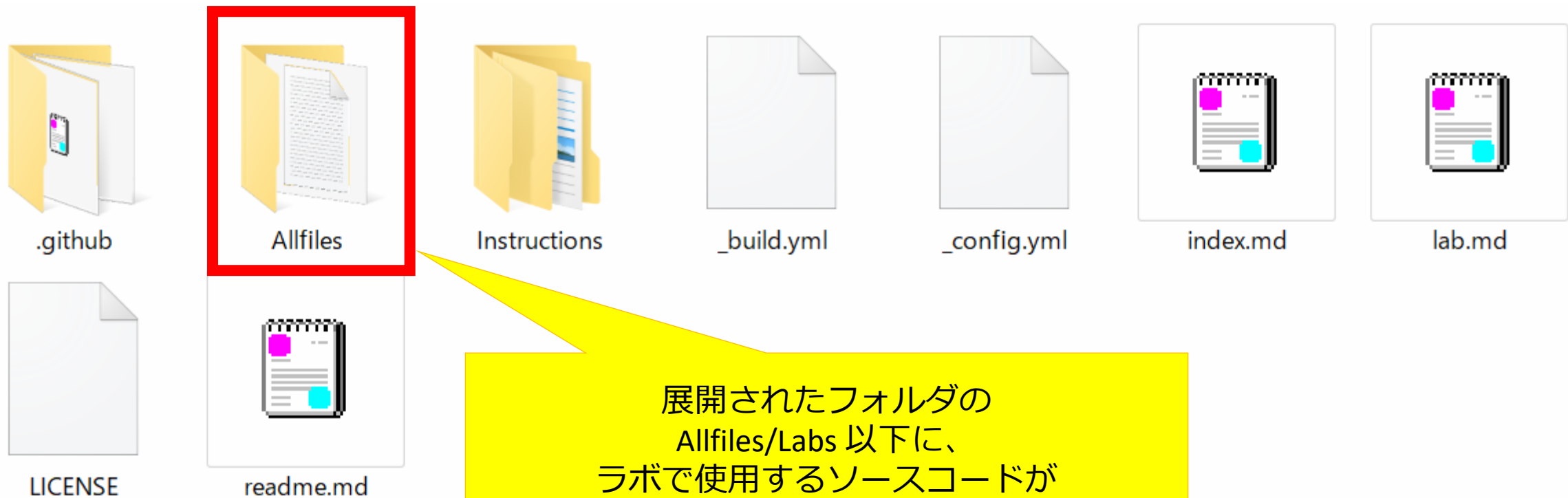


ダウンロードした
ZIPファイルを開きます

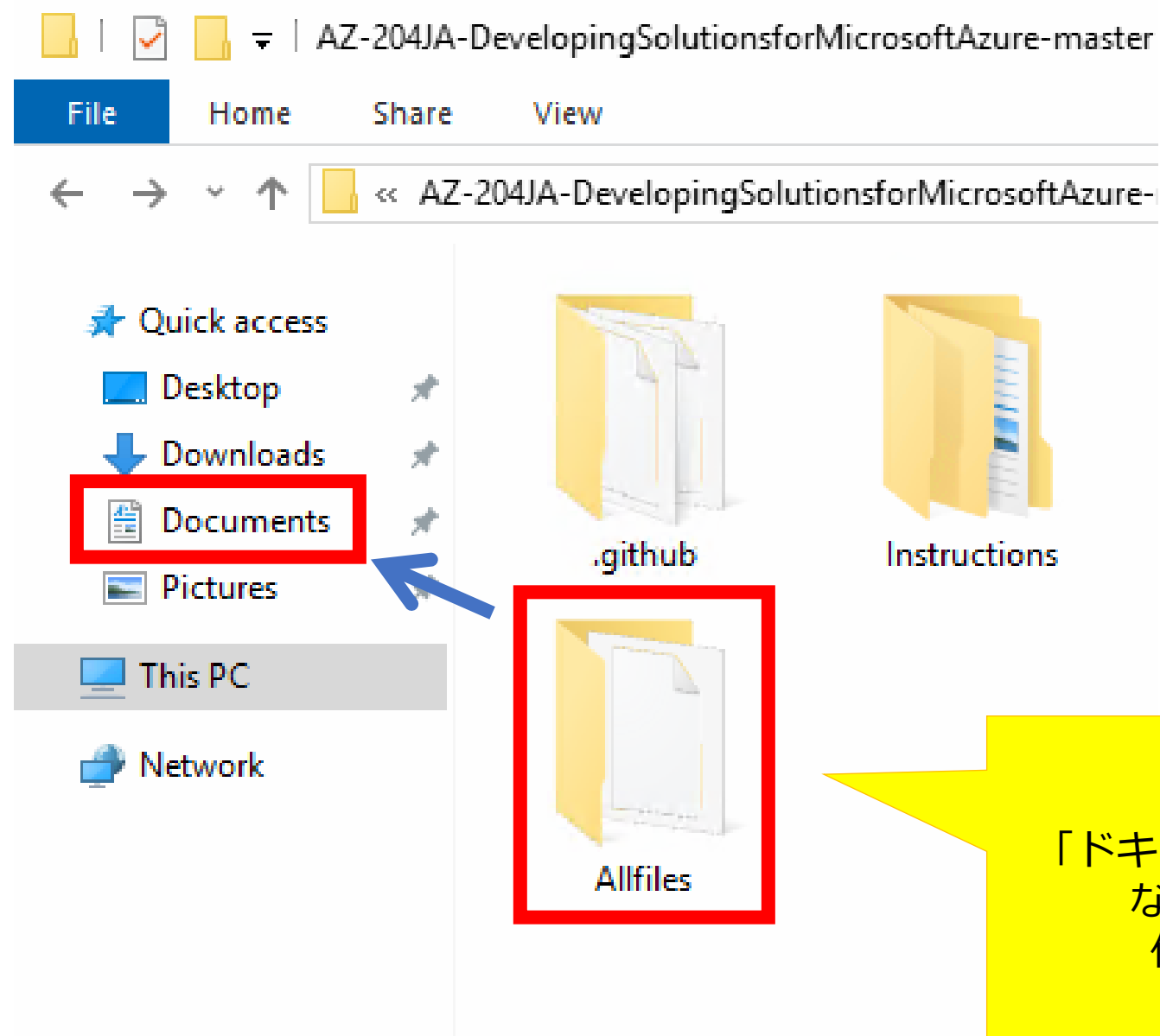


ZIPファイルを展開
(Extract all) します

ラボで使用するソースコードのダウンロード



ラボで使用するソースコードのダウンロード



ラボで使用するソースコードのダウンロード

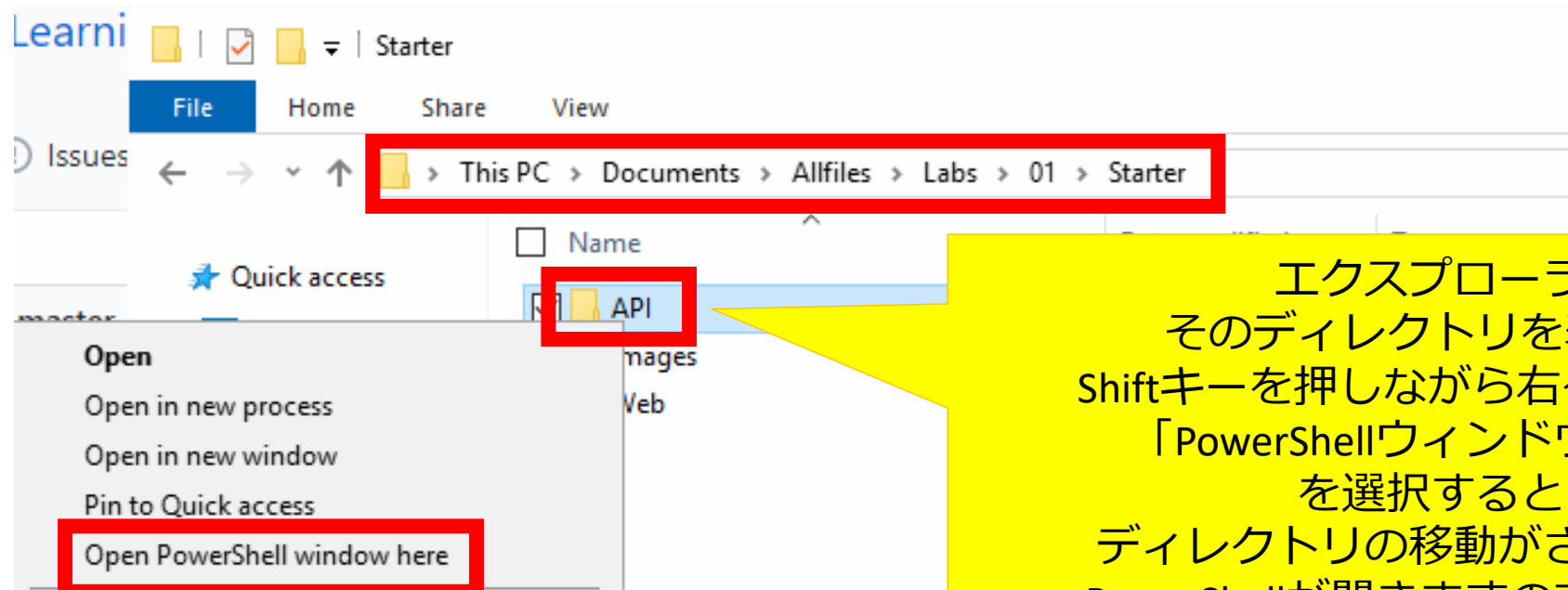
8. 現在のディレクトリを、演習ファイルを含む**すべてのファイル**

(F):\Allfiles\Labs\01\Starter\API ディレクトリに変更します。

Code

```
cd F:\Allfiles\Labs\01\Starter\API\
```

ラボ手順書で、このようにディレクトリを移動するように指示がある場合、「F:」などは各自の環境に合わせて読み替えてください。

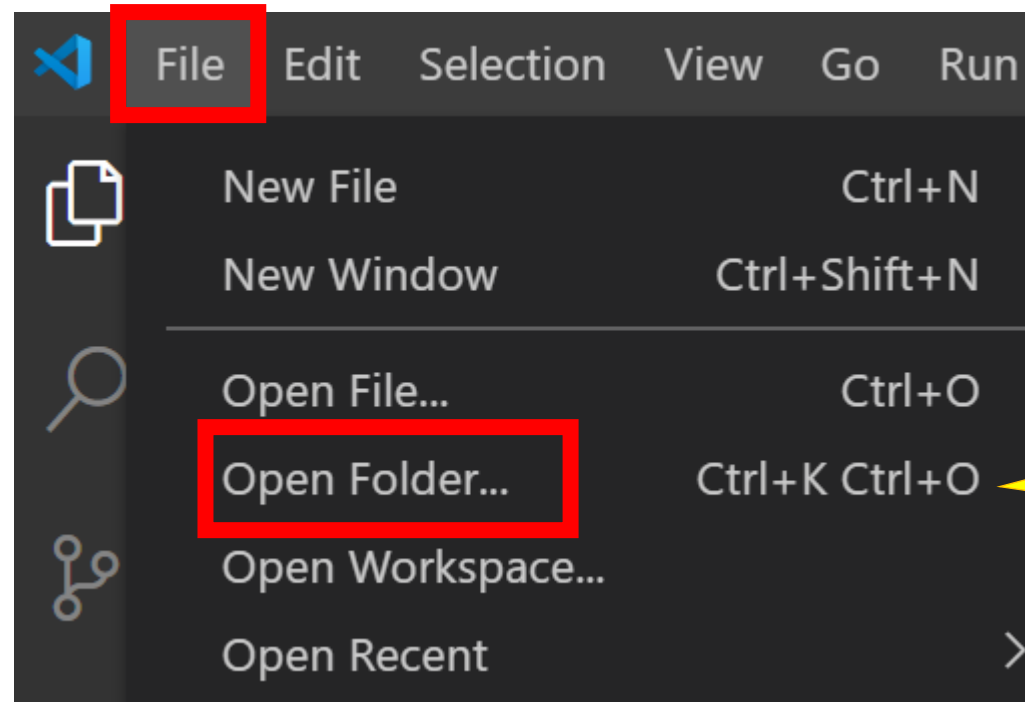


エクスプローラでそのディレクトリを表示し、Shiftキーを押しながら右クリックし、「PowerShellウィンドウを開く」を選択すると、ディレクトリの移動がされた状態でPowerShellが開きますので便利です。

例：Visual Studio Codeでフォルダを開く

このように
書かれている場合・・・

- 1 Visual Studio Code で、**Allfiles (F):\Allfiles\Labs\01\Starter\API** フォルダーにある Web アプリケーションを開きます。



File > Open Folder ...
で、上記で指定されたフォルダー（API）を
選択して「フォルダーを開く」
を選択します。